

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和7年 12 月 11 日

事業所名：すまいるりんく

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準に沿ったスペースを確保し運営しております。教室内で区切っていないが、学習スペース、製作スペース、共有スペースをつくっています。必要に応じてパテーションで教室内を区切り、対応する時があります。	はい:17名 どちらともいえない:3名	今後も基準に沿った運営を行います。
	2	職員の適切な配置	基準に沿った指導員を配置しておりますが、状況によっては指導員が多く必要な時があります。	はい:15名 どちらともいえない:4名 わからない:2名	今後も基準に沿った運営を行います。状況に応じてグループ内で指導員の補充を行い、円滑に安心して子どもたちが過ごせるような環境づくりを取り組みます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所に向かうまでに階段での移動の為、バリアフリーではない。階段の登り降りの際に子どもたちに事故がないように指導員が注意しながら対応を行っています。	はい:12名 どちらともいえない:1名 わからない:7名	ご見学や体験時から事業所の状況等を詳しくお伝えしております。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎朝、清掃と教室の喚起を行っております。療育終了後、清掃や次亜塩素酸のナトリウムの散布も行っています。	はい:18名 わからない:2名	継続して清掃を行います。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日昼礼を行うことや月末に職員会議を行い、業務改善と共有を行っています。保護者から送迎時にお話を聞いたことや公式ラインでご連絡があった際は、共有ノートに記入し指導員全体に共有し、確認後は必ず押印を行っています。毎月会議等でもイベント時の企画や反省、療育の内容や送迎時の対応等話し合い取り組んでいます。		
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価は行っていません。		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修等研修を受けいています。		
適切	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者さまに送迎時や半年に1回のモニタリングを通してヒヤリングを行いご家庭や学校の様子を伺い支援計画を作成しております。また保護者のやお子さまのニーズや課題をお聞きし、個別支援計画を作成し、必要に応じて保護者		

な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	し、個別支援計画を作成しております。必要に応じて保護者と面談の時間や電話でお話をする時間もつくっております。全体での外活動や個別で製作活動を行ったり、子どもたちの長所が伸びるような支援を行っています。また学習面で1人ひとりに合わせたプリントを用意し、指導員がサポートしながら取り組んでいます。	はい:19名 わからない:1名	今後も保護者さまやお子さまニーズや課題に合わせた個別支援計画書を作成していきます。また具体的な支援内容が記載された個別支援計画書の作成に努めていきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々にあった個別支援計画書を作成しています。		
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書をもとに適切な療育を行っています。	はい:17名 わからない:3名	普段の療育の様子を写真を撮って具体的に保護者に説明を行うことやSNSを通じて療育の様子を発信していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	平日は、1日のタイムスケジュールを作成し、全体で行動ができるように取り組んでいます。活動は最初に1日の流れの説明や支援内容を始めの会で伝えています。読み聞かせの時間や屋外活動の時間、毎月製作活動の時間を設けています。終わりの会では、1日の出来事を振り返る時間を設け発表する時間もつくっております。休日には、イベントや遠足行事を事前にお知らせしプログラムが固定化しないように行っています。季節ごとに応じた活動では川遊びや流しそうめんを行ったり、お芋堀り、お餅つきなど行っています。ハロウィンの時期には保護者とお子さまが楽しめようハロウィンパーティーも催しました。	はい:16名 わからない:4名	製作を楽しんでいます。と嬉しいお言葉をいただいております。今後もお子さまから保護者が楽しんでいただける療育イベントを企画していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援			
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施			
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	職員会議での共有と毎日昼礼を行い支援内容の確認を行っています。		今後も継続して行います。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後、その日の情報や反省点の共有を図り、次の日の昼礼時に全体に共有しております。また共有ノートで共有事項を記載し情報共有を行っています。		今後も適切な療育を行う為に情報を共有し改善していきます。

	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳を通して保護者に共有を行っています。また必要に応じて送迎時やお電話でお話をする時間をつくり、事業所内の様子や課題についても振り返りながらお話をしています。		今後も事業所内だけではなく、保護者さまと送迎時や公式ライン、お電話をする時間を設けて支援の共有を行います。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	原則半年に1度モニタリングを行っています。必要に応じて学校や家庭に訪問し随時見直しを行っています。		今後も適切な療育を行う為に取り組んでいきます
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	担当者会議の招集があれば随時参加しております。必要に応じて学校の先生やスクールワーカー相談支援員さんと連携を行っています。		今後も招集があれば参加します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、左記のお子さまの受け入れがないため行っていません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、左記のお子さまの受け入れがないため行っていません。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援の事業所と移行の為に連携を図っています。グループ内の児童発達支援のお子さまで放課後等デイサービスへ通所をお考えの場合は、面談や見学を行っています。		今後も各連携機関との情報共有を行い療育につなげます。 安心して通所していただけるように見学や体験の時間をつくっていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	情報提供を求められれば随時必要に応じて情報提供を行っています。		今後も各連携機関との情報共有を行っていきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	外部研修やオンライン研修を通じてサービス向上に努めています。		今後も必要に応じて研修を利用します。

	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	左記のような交流は行っていません。	はい:5名 どちらともいえない:1名 いいえ4名 わからない:11名	今後は活動の機会を設けられるように検討します
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	左記のような交流は行っていません。		地域理解を含めて検討いたします。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	体験時や契約時に説明しております。通所後も保護者さまに対してご説明する時もございます。	はい:18名 どちらともいえない:1名 わからない:1名	今後も継続して説明していきます。またわからない場合はお電話や送迎時にご説明させていただきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画作成後、保護者さまにご説明し納得してもらってから署名をいただいております。	はい:20名	今後ご理解いただけるように努めてまいります
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	随時ご相談いただければ対応いたします。	はい:10名 どちらともいえない:1名 いいえ4名 わからない:5名	今後ともご相談いただければ回答いたします。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳でやり取りをしています。連絡帳に記載されている情報をその日に指導員全体に共有し、支援を行っています。送迎時、公式ラインを通して共有を行っています。日々の課題についてもお話し、その子に合わせた支援を行うように取り組んでいます	はい:17名 どちらともいえない:2名 いいえ:1名	今後ともご家庭との連携を含めて対応いたします。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	随時ご相談いただければ対応いたします。	はい:18名 いいえ:2名	今後とも随時対応いたします。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	左記のような活動はしておりませんが、保護者さまとお子さまと一緒に参加できるイベントを実施しております。	はい:3名 いいえ7名 わからない:10名	今後も開催に向けて検討いたします。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	ご連絡をいただいた際にすぐに管理者に共有し、迅速に解決に向けて対応を行っています。また職員会議でも共有を行い、周知徹底を行っております。	はい:15名 どちらともいえない:2名 いいえ1名 わからない:2名	今後とも苦情等をいただかないように努めるとともにご連絡いただいた場合は、すぐに対応を行います。

	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	全体行動での指示の理解が難しい場合は、個別で指導員が対応しております。またお子さまの障害特性に応じて図や表、カードを用いて対応しております。送迎時に保護者さまに活動内容や具体的にどのようなことを行ったかを説明しております。	はい:18名 いいえ1名 わからない:1名	お迎え時にその日どのような活動を行うかをお伝えします。今後も適切な対応を行います。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	公式ラインでイベントのお知らせを作成し対応を行っています。また活動内容を知っていただくようにSNSでも情報発信も行っております。	はい:19名 わからない:1名	今後も継続して情報発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	秘密保持の観点から厳重に保管しております。	はい:16名 わからない:4名	今後も継続して情報漏洩がないように努めていき
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしております。職員会議でマニュアルについても随時説明し、周知徹底を行っております。保護者さまへ見学時や契約時にご説明しております。	はい:13名 どちらともいえない:1名 わからない:6名	今後ともご見学、ご契約前に説明し職員間でも継続して共有していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的な訓練を事業所内で行っています。尼崎の防災登録もしております。	はい:8名 いいえ1名 わからない:11名	今後も訓練の実施と防災情報の確認を行います
	3	虐待を防止するための職員研修機確保等の適切な対応	外部研修、事業所内でも研修を行っています。		今後も研修を行って参ります。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	委員会を設けて対応を行っています。		今後も必要に応じて適切に対応します。

	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在は、アレルギーのお子さまでも召し上がってもらえるおやつしか提供しておりません。随時、新しいおやつを提供する場合は、保護者さまにご連絡し確認してもらっています。		今後も継続して左記の対応します。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットに当てはまる事象があれば職員間で共有し紙面上で残しいつでも閲覧できるように取り組んでいます。		今後も周知徹底を行い事故等おきないように努めていきます。